

令和3年度 第2回住吉区防災専門会議への事前意見に対する対応方針

番号	意見	対応方針	参考
1	<p>【令和3年度防災情報の全戸配布について】</p> <p><u>年々新しくなるため、「2021年度」を入れてほしい。</u></p>	<p>マップの内容に変更があれば更新するため、<u>マップの右下に「作成年月日」を記載しています。</u></p>	畑委員
2	<p>【令和3年度防災情報の全戸配布について】</p> <p><u>大地震は直下型と南海トラフ型があるので、それぞれの避難行動の違いが分かるようにしてほしい。</u></p>	<p>地震における避難行動について、津波を伴うものについては浸水想定区域外の避難や水害時避難ビルへの避難等の違いはありますが、<u>地震における基本的な避難行動については同様であるため、今回の防災情報には地震発生時の避難行動として掲載する予定と</u> <u>しています。</u>なお、<u>津波が発生した場合の行動については、8月に全戸配布した水害ハザードマップ（住吉区版）に掲載しています。</u></p>	畑委員
3	<p>【令和3年度防災情報の全戸配布について】</p> <p><u>マップ上に南海トラフや大和川氾濫等の避難経路について、矢印を入れると分かりやすいのではないか。</u></p>	<p>南海トラフや大和川氾濫等の避難経路について、防災マップに矢印を記載することによって、<u>必要な情報が見えにくくなること</u> <u>が想定されるため矢印を入れていません。</u></p> <p><u>水害に関する詳細な情報は、次年度の水害に関するリーフレット等で水平避難について、周知を検討します。</u></p>	畑委員

令和3年度 第2回住吉区防災専門会議への事前意見に対する対応方針

番号	意 見	対 応 方 針	参 考
4	<p>【令和3年度防災情報の全戸配布について】</p> <p><u>水害ハザードマップの使い方や大和川氾濫なら何メートル、南海トラフなら何メートルと目安もあると分かりやすい。</u></p>	<p><u>8月に全戸配布した水害ハザードマップ（住吉区版）の表紙面に使い方を掲載しています。</u></p> <p><u>大和川が氾濫した場合に家屋倒壊等危険区域は清水丘・遠里小野・苅田南地域の一部で、各地域の最大浸水想定は、清水丘：5.80m、遠里小野：5.03m、苅田南：3.57mです。</u></p> <p><u>住吉区は、南海トラフの津波での被害はほとんどないと想定されていますが、墨江・東粉浜・住吉地域の一部で浸水する可能性があり最大浸水想定が、3.00m未満です。</u></p> <p><u>水害に関する詳細な情報は、次年度の水害に関するリーフレット等で周知を検討します。</u></p>	畑委員
5	<p><u>電柱等に何メートルと貼るだけでなく、ここまで浸水するというようなマークを入れたら分かりやすいと思う。</u></p>	<p><u>原田委員の町会で実施されていますが、関西電力に依頼したところ、掲示物は1か所であること、劣化による落下など危険が伴うという理由から許可できないとの回答であったため、また、NTT柱は幹線道路に少なく目立たないため、目の高さではありますが、関電柱の防犯のポスター（548箇所）の上に浸水想定表示を貼付させていただいています。</u></p>	畑委員